

線記号変形の文字種を変更する方法

「Jw_cad 電気設備設計入門」付録の「M引出線・文字種 2」の文字種を文字種4に変更する例で解説します。

付録の線記号データは、「jw-dens」フォルダ内の「S50用」フォルダに JW_OPT4.DAT、JW_OPT4B.DAT、JW_OPT4C.DAT・・・という名前のファイルとして収録されています。これからその一部を変更する「【線記号変形 M】引出線・文字種 2」は、JW_OPT4M.DAT です。

①メニューバー[その他]-「線記号変形」を選択し、表示される「ファイル選択」ダイアログのフォルダツリーで、文字種を変更する線記号「【線記号変形 M】引出線・文字種 2」を \square で選択。

②右の一覧表示にマウスポインタをおき、**Ctrl** キーと **Shift** キーを同時に押しながら \square で選択。

⇒JW_OPT4M.DAT を開いてメモ帳が起動する。

先頭行の#に続く記述が、この線記号データの名称です。

3 行目の「999」から次に出てくる「999」までの数行が、1つ目の線記号データを示します。

基本的に1行=1命令(1本の線や1つの文字をかく命令)です。

文字を記述する命令文は、

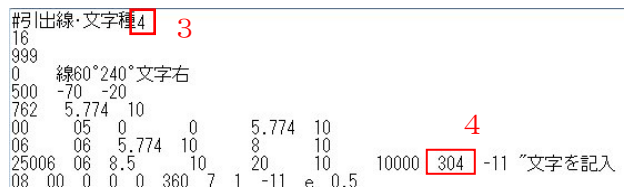
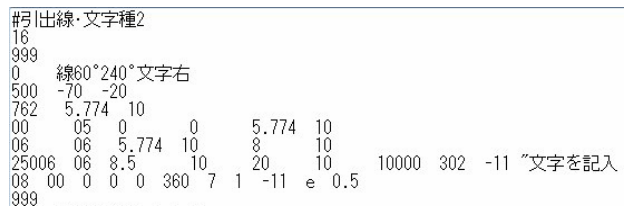
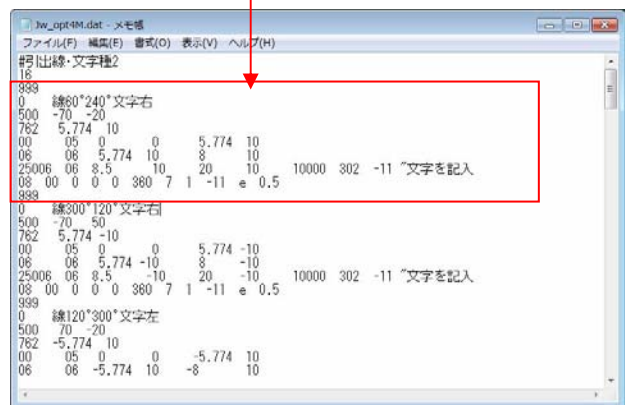
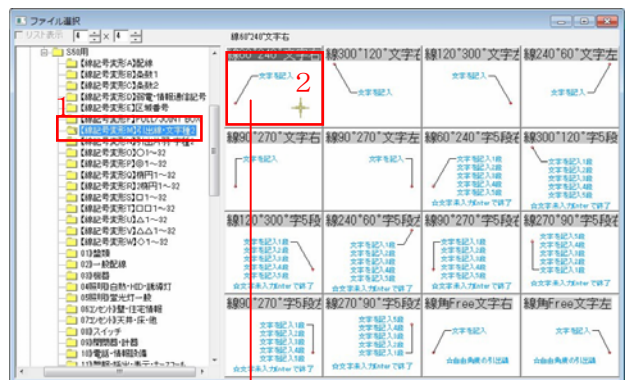
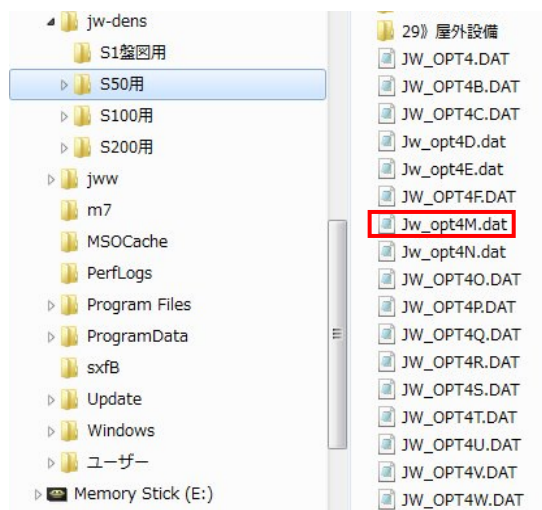
「25006」で始まり、「-11 "文字を記入」で終わる行です。

「-11 "文字を記入」の前の「302」の「02」が文字種 2 を示します。文字種を4に変更するには、この「02」を「04」に変更します。

③はじめに1行目の名称の「文字種 2」を「文字種 4」に書き換える。

注意:むやみに **Enter** キーを押して行を増やしたり、既存の命令文を消したりしないよう、注意して行ってください。

④「302」の「2」を「4」に書き換える。

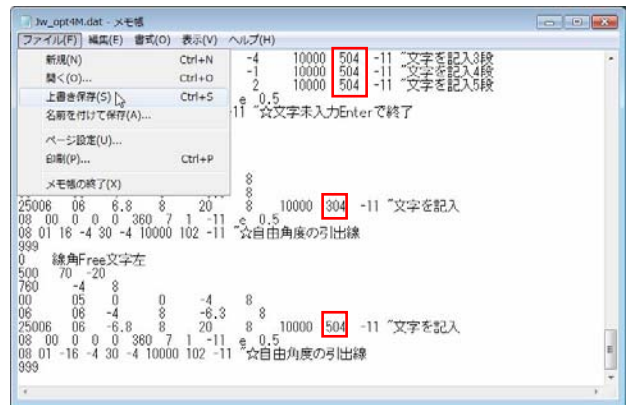


⑤同様に、他の線記号の文字種指定「02」も「04」に書き換える。(「302」のものど「502」のものがある)

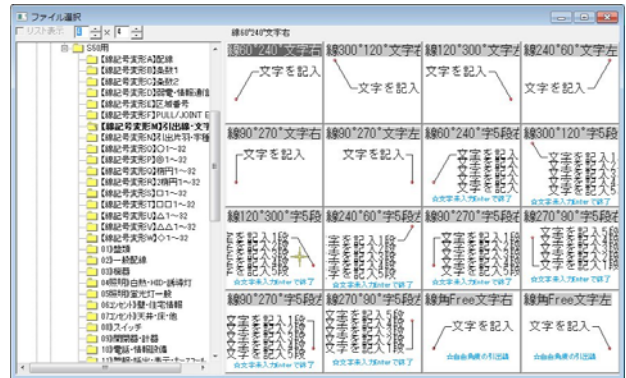
⑥書き換えが完了したらメニューバー[ファイル]ー「上書き保存」を選択。

もとの「【線記号変形 M】引出線・文字種 2」を残し、新しく文字種 4 のものを保存することもできます。下段参照

⑦メニューバー[ファイル]ー「メモ帳の終了」を選択してメモ帳を閉じる。



⇒「ファイル選択」ウィンドウに戻り、変更した線記号データが一覧表示される。



もとの「【線記号変形 M】引出線・文字種 2」を残す場合には、⑥で変更したファイルを上書きせずに、別の名前で保存します。

⑥メニューバー[ファイル]ー「名前を付けて保存」を選択。

⑦表示される「名前を付けて保存」ダイアログのフォルダツリーで保存先フォルダが「S50 用」フォルダであることを確認。

⑧「ファイル名」ボックスの「Jw_opt4M.dat」の「M」を「L」に変更し、「Jw_opt4L.dat」にする。

「opt4」後ろのアルファベットを「B」～「Z」のいずれかに変更します。このフォルダに「Jw_opt4L.dat」が存在しなかったため、ここでは「L」に変更しました。

⑨「ファイルの種類」ボックスを「すべてのファイル (*.*)」にする。

⑩「保存」ボタンを

⇒「ファイル選択」ウィンドウに戻る。

⑪保存した「Jw_opt4L.dat」である「【線記号変形 L】」を

